



毎月15日は工賃支給日です。皆さん楽しみにされています。

ほかにわ

発行所：ほかにわ共和国
 発行責任者：志賀俊紀
 編集責任者：ほかにわ広報部



喜びを感じる支援の探究

ワークネットやはた施設長 原田秀範

連日連夜、どこかの放送局で新型コロナ関連の報道がある状況下、当法人の感染防止対策は、「安心・安全」を念頭に置いて事業展開をしています。今年度のほかにわ共和国のキーワードは「ほかにわにないオンラインワンの輝きを」であります。

利用者の皆様に喜びを感じるための事業運営を改めて考えてみました。



出荷を待つ園芸班の花苗

先月、利用者アンケートを実施した結果、コロナ禍においてストレスの蓄積を感じ取り、早急に対応の必要性を感じました。ワークネットやはたの利用目的としては、①給料を貰う。②皆と仕事をしたい。を合わせて全体の七十%を占めています。

B型・就労移行の利用者の意向としては当然の数値であるとは認識しています。しかしながら付加価値として「心の豊かさ・ゆとり」を感じてもらおうという必要もあります。

稼いだお金で好きなことをしたい。結婚生活。行事への参加、等々、思いは様々。これらを実現するために難を極めることであろうと思います。私たちは支援者として利用者の個々の意向にどれだけ寄り添え、また、意志実現支援が達成できた先には支

「働く」を支える

我が国における高齢者の就労意欲は高いと聞く。当事業所をご利用の方々も高齢化が顕著に見受けられるようになってきており、開設当初より通っている利用者も10名、そのうち半数は60歳前後の年齢である。

就労系事業所に通う高齢になった方々が自ら通う事を終えようとならないのは何故だろう。

日中活動利用者は、「仕事をしている」「私は働いているんだから」という意識が強く感じられる。しかしながら、それだけではないようだ。

「みんなと会えるから通う」「仲間と一緒に仕事をしたい」という思いを実現させるためにも事業所が存在する役割は大きく、私達も認識しておく必要がある。

働くことを支える事は、その人のライフプランを形成する上での重要な役割であると共にその人らしい「生き方」を支援することである。

ワークネットやはた総務主事 白倉



製品のたたみ作業を行っています

「家族の思い」

六月七日 優太の母より

坂木優太さんは、島原特別支援学校を卒業後、H31年4月1日より、ワークネットやはた・やはた共育大学に入学。生活訓練過程を終了し、現在3年生(就労移行支援一年目)となり就職を目指しています。そこで家族の方に「思い」を尋ねました。

Q 小さい時の様子をお聞かせください。

母)保育園では、相撲が好きで「ゆうた丸」という四股名をつけてもらい、横綱の土俵入りをさせてもらい、小学校ではサッカー、中学では砲丸投げをがんばりました。

Q 就職に向けて心配、不安はありますか。

母)優太にあつた就職先がみつかるか心配です。できれば自宅から通える所で就職できたらいいです。

Q ワークネットやはたの訓練に期待したいことは。

母)苦手の作業が多いと思いますが被服班でいろんな作業に挑戦し一つでも出来る事が増えるようになって欲しいです。

Q 今後、優太さんごのように成長してほしいですか
 母)人との繋がりを大切に、優しく強い優太になってほしいです。

Q 最後に優太さんにメッセージをお願いします。

母)優太が毎日笑っていてくれて、お母さんは、とっても幸せです。ありがとう。これからもよろしくね。



法人役員改選

今年度役員改正があり、理事長に「志賀俊紀」が選任されました。今回は、ほかにわ共和国を支えていただく評議員、理事の皆さんをご紹介させていただきます。

理事長



志賀 俊紀 (南島原市)

令和になつてはじめての役員改正、元気印の皆さんとともにがんばっていきます。私の外に、

志賀常盤(悠炉里)、

原田秀範(ワークネットやはた)、

原口由紀子(アイ雲柿の木)

三名の施設長が理事です。私たちは、利用者支援の充実に努力します。

理事



近藤孝信 (南島原市)

利用者第一の経営・運営を行い、先代の思いを伝えていってほしい。それがあれば、失敗も起こらないと思います。

理事



林田元親 (南島原市)

私自身農福連携でお世話になっており、障害者の事を地域の方にも知ってもらえるようなアピールを頑張りたいです。

評議員



植木貴宗 (南島原市)

これからの地域になってはならない存在、皆さんに感謝される法人であって欲しいと思います。

(役職別 五十音順)

評議員



井上武久 (雲仙市)

利用者や地域の人から信頼されるような職員・役員にならないといけません。

評議員



永代秀顕 (島原市)

皆様とパートナーシップで持続可能な地域を共に作りたいと思います。

評議員



平湯 晃 (南島原市)

法人の利益も大事だが、地域の産業である農業の利益を上げる事を第一に考えてほしいです。

評議員



増田好次 (島原市)

健康に気を付けて皆さん頑張ってください。

評議員



松尾恭道 (南島原市)

職員も、利用者も明るく楽しい環境づくりを願っています。



評議員

水野清治 (諫早市)

ワクチンの早期接種などのコロナ感染対策をしつかり行って、楽しく、元気に子供が暮らせるようにしてほしいです。

監事



平光司 (南島原市)

共生社会の中での役割をどうするかを施設の課題として、地域との融合を目指し、頑張ってください。

監事



平野康磨 (雲仙市)

私の自宅も年に数回除草作業を委託しているが、法人がどんなことをしているのか、地域の方にもっとPRしてほしい。地域の認知度もあがり理解してもらおうことが大切。

取材チーフ(福田恵理)

売りたいか。なう@

口之津港ターミナルビル内の売店『はあとふる』では、天草の玄関口として連日大勢の旅行客が… と言いたいところですが、新型コロナの影響でお客さんは減っちゃいました

(“ ”)

それでも毎日元気に営業中！今回は当店売上No.1の菓子をご紹介！長崎のお土産と言ったらやっぱりカステラ！文旦堂さんの素材や焼き方にこだわった“長崎かすてら”が堂々の1位！



当店は様々なカステラやお土産品を多数取り揃えていますので是非一度お立ち寄りください。(亮裕)

夏祭り 運動会のお知らせ

夏祭り ↓

各事業所での開催

運動会 ↓

権田公園にて無観客で開催

マイフォーム マイコレクション

私のマイブームは子供の頃からのサッカーですかね。小学校の頃、毎日のようにボールを蹴っては遊んでいました。事実、高校デビューも試みましたが。周りの上手さに圧倒されてすぐ挫折しましたが(笑)それからは見ることに興味湧き、何度もV・ファーレン長崎の試合観戦に行ってきました。

コロナが早く収束して気軽にV・ファーレン長崎を観戦出来るよう願いつつ、時には相手を見つけて体を動かしたいと思っています。

デイ雲 高松豊



【貸借対照表の要旨】		【事業活動計算書の要旨】		【資金収支計算書の要旨】	
科目	金額(千円)	科目	金額(千円)	科目	金額(千円)
資産の部		サービス活動収益	561,021	事業活動収入	567,077
流動資産	611,054	サービス活動費用	503,339	事業活動支出	484,148
固定資産	721,630	サービス活動増減差額	57,682	事業活動資金収支差額	82,929
(基本財産)	528,776	サービス活動外収益	6,056	施設整備等収入	57,864
(その他の固定資産)	192,854	サービス活動外費用	8,591	施設整備等支出	69,914
資産の部合計	1,332,684	サービス活動外増減差額	△ 2,535	施設整備等資金収支差額	△ 12,050
負債の部		経常増減差額	55,147	その他の活動収入	366
流動負債	59,695	特別収益	2,230	その他の活動支出	3,052
固定負債	94,870	特別費用	1,099	その他の活動資金収支差額	△ 2,686
負債の部合計	154,565	特別増減差額	1,131	予備費支出	0
純資産の部		当期活動増減差額	56,278	当期資金収支差額合計	68,193
基本金	5,559	前期繰越活動増減差額	846,506	前期末支払資金残高	517,504
国庫補助金等特別積立金	138,276	当期末繰越活動増減差額	902,784	当期末支払資金残高	585,697
その他の積立金	134,500	基本金取崩額	0		
次期繰越活動増減差額	899,784	その他の積立金取崩額	0		
純資産の部合計	1,178,119	その他の積立金積立額	3,000		
負債及び純資産の部合計	1,332,684	次期繰越活動増減差額	899,784		

大空

障害者支援施設
八雲寮広報部

合同収穫祭

例年になく早い梅雨入りをした六月四日に合同収穫祭を行いました。寒さが残る二月末より、タマネギ収穫。心地好い暖かさの中のジャガイモ収穫と、どちらもデイ雲の方々と一生懸命に頑張りました。

祭り当日は雨に見舞われ、惟神記念館での開催となりました。しかし、今年度始まって初の大らかな行事ということもあってか、乾杯の際の利用者の勢いのある発声には驚かされました。

お腹もある程度膨らんできた頃に余興開始。今年も定番のキロ計りゲームを行いました。今年は工夫し、箱の中身を見える化するにより、観客の皆さんからも中身が見え、昨年度にない盛り上がりを見せました。

行事は、利用者の方々にとっては楽しみの一つだと思います。コロナ禍により、様々なイベントが中止や延期、縮小を余儀なくされています。たとえ縮小されたとしても、職員が知恵を絞って、工夫し、協力をすること、より楽しんで頂ける行事を作り上げていく事が出来ると思います。

(要平)



今後の行事

8月行事

6日 夕涼み会

ホーム活動

9月行事

ホーム活動

GWの過ごし方

〜五月三〜五日〜

今年のGWもコロナ禍の為、楽しみにしていた帰省は延期となりました。利用者の方々は、「今年も帰れんと?」、「コロナだからしょうがなかよ!」とがっかりしながら話されていました。そこで、GWを楽しく過ごしてもらう為に、三つの行事を実施しました。

GW初日は、はっぴいマートを開店。沢山のお菓子や飲み物を自分で悩みながらカゴに入れますが、ついつい入れ過ぎたのか、会計の時にお金が足りず、一つ品物を棚に戻す方も見られました(笑)。購入した

お菓子や飲み物は美味しくいただく姿が見られました。(吉田)

GW二日目には、上映会を行いました。事前にレンタルした物もありましたが、当日に畑中さんより私物のDVDが観たいとのリクエストがあり、他の方々から了承してもらい、仮面ライダーを上映しました。事前に購入したおやつを味わいながら和気あいあいと、スクリーンに写る映画を楽しまれました。(敬二)



GW最終日の子供の日には苜蓿湯に浸かりました。風習に則り、苜蓿を頭に巻いたり、身体を叩いたりする方や苜蓿の香りを楽しむ方もいてそれぞれ違う楽しみ方をされていました。(松島)



ご満悦な葛島友斗さん♪

あじさい定植

利用者玄関の紫陽花も一人では寂しいだろうから増やしたいなあ、数名で話をしていました。ある日の朝、厨房の方のご厚意により数品種の株を頂くことができました。

初めての試み「挿し木」にて本数を増やそうと、4月末に1本1本をポットへと挿しました。毎日の水やりを頑張ること、1ヶ月半。



定植できる状態になり「ちゃんと根付いてくれるかな〜?」「いつ頃花が咲くのかなあ〜?」と、皆で話をしながら植え付けを行いました。

来年の梅雨頃には花が咲くと思います。数年後には、「長崎アジサイロード」ならぬ「八雲あじさいロード」になることを楽しみに。

New face 〜職員紹介〜

分からない事の方が多ですが、特技である習字を活かし、精いっぱい頑張っていきます。



福田 弓子

がんばらんば宣言

毎号掲載しているがんばらんば宣言
今回ご紹介するのは・・・?



紙ちぎりを
頑張っ
ています!

村上 忠さん

平成23年7月1日 入所

じゃがいも雑感!

私が初めて八雲寮に配属された平成十八年を思い起こせば、利用者と職員を合わせて二十名程いた農芸科。皆さん年齢も若く馬力も今の数十倍はあった。現在、三分の一程の人数になり、体力も落ちてきているが、自分達で作付けしたものは無駄にはできない。

最初の難関は馬鈴薯。加工科やデイ雲へ応援を要請し、収穫開始。勢いよく収穫を始めるが、早すぎる梅雨入り。早めの準備を行うも、苛々する日が続く。しかし、皆の協力のお陰もあり、無事に収穫を終える事ができた。

今年の四月、二年前にいた頃の私とは業務体制が一変して始まった。新しい業務を行うには、今まで以上に事業所内外に関わらず、協力体制を強めていかなければならない。より良いサービスと、より良い作物も作れるように。

追伸
びっくり箱をご注文して下さいました皆様方へ。有難うございました。(要平)

ひまわり

7月号 No.202



久々のお出かけ

六月十六日、有明の森フラワー公園へ花見外出を行いました。例年六月は、大村公園へ菖蒲見学を行っていましたが、昨年はコロナ禍のため行事そのものが中止になりました。今年も実施が危ぶまれていましたが、感染拡大の状況が落ち着いてきたこともあり、十分な感染対策をとった上で、島原半島内での花見外出行事に内容を変えて実施しました。外出行事自体約一年半ぶり、皆さんが数日前から、今か今かと待ち望んでいるのがわかりました。

公園内はサルビアやマリーゴールドが一面色鮮やかに咲いており、色とりどりの花に皆さん感激されている様子でした。



集合写真も久しぶり 有明の森フラワー公園にて

熱戦! 風船バレー大会とおやつ作り

5月21日(金)、レクリエーション大会・おやつ作りの行事を行いました。午前中、6チームのトーナメント方式で風船バレー大会を行いました。通常のボールと違って風船はなかなか思った所へ打てず苦戦しました。しかし、利用者さん、職員共に大いに盛り上がりとても楽しい時間となりました。

午後はパンケーキ作りを行いました。ステーションほかにわのサンドイッチ用のパンにジャムを塗ってホットプレートで焼き目を付け、ホイップクリームやチョコレートソースで自分の好きなトッピングをして only one のおやつが完成。利用者の皆さんで美味しく頂きました。(光長)



作業班別活動 ~木工班~

例年、同じ時期に日程を変えて活動を行っていた作業班別の活動、今年度は時期をずらしたの活動となりました。最初は木工班です。当初、皆さんのリクエストで外出を行い回転ずしでの会食を計画したもの、新型コロナウイルス感染拡大が続いており、お持ち帰りで東望での食事会に変更しました。



好きなネタを好きなだけとはいきませんが、皆さんからは「おいしかった」「たのしかった」の声が聞かれ、ほっと一息の一日外出でした。

これからも手織り班・花野菜班・機能訓練班と続きますが、早くコロナ感染が収束し、楽しい外食・活動が出来ることを願っています。(山本)

工房階段に屋根がつけました

デイ雲・手織り班の工房へ降りる階段に屋根が設置されました。これまで雨天時は傘を差しながら階段を昇り降りする煩雑さがあり、また長時間雨が降ると足元も悪くなりがちでした。安全を優先するために、天候を気にしながら作業を早めに切り上げたり、工房へ移動するのを控えるなど作業にも悪影響を及ぼしていました。この度、屋根が付いたことでこれまでの心配もなくなり雨天時も安全に移動ができるようになりました。(小山)



皆で熱くなった風船バレー大会



北有馬町の自宅から通所されている山村文美さんです。平成十二年より利用開始、ほぼ毎日元気に通われています。

木工班での作業とヘルマンハーブの練習をこれからもがんばります。



雲と虹

感染対策を十分とつたうえで、六月に久しぶりの外出行事を実施した。近場であったが参加者の方々からは「楽しかった」「また行きたい」等の声を聞くことが出来た。

利用者の皆さんが楽しみにしている行事に恒例の「日帰り旅行」がある。昨年度は新型コロナウイルスの感染リスクのため、行事中止の選択となりました。今年度は「今年度は旅行いけないかな?」という声を耳にする。その期待にこたえる為、今年度は「日帰り旅行」を実施できるような行程と必要な感染防止対策を考えている。

十分な感染対策を行うのが第一であるが、一日も早く感染拡大が収束し、すべての行事が通常通り実施できるようになることを願うばかりだ。(福田)

行事予定 8・9月

- ・パイキング食
- ・作業班別活動(花野菜班)
- ・上映会(放課後等デイ)
- ・果物狩り

※状況により延期・中止になる場合があります。

悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌

7月号

池永ホーム

六月二十日、
誕生会を行いました。

いつもなら近くのお店に出かけるのですが、



新型コロナウイルス感染症の影響で今年度もグループ活動が中止。利用者は毎年小グループ活動を楽しみにしているため、利用者が満足できるようなホーム活動を毎月工夫を凝らし計画しています。今回は各ユニットのホーム活動を紹介いたします。

田中・谷口ホーム

(松本)

手作りおやつで「蒸しパン」を作りました。生地をこねる人、カップを並べる人等、それぞれ協力しながら作りました。トッピングも好みのフルーツ、チョコレート等を飾り、蒸しパンが出来上がりました。「美味しい」とみんな笑顔になり、楽しいおやつ作りでした。



いただきます!



それぞれの余暇の過ごし方

今回は気分を変えてお世話になっている洋食屋さんの持ち帰り弁当とコーヒー、ケーキ等でお祝いをしました。普段、食が細い利用者も、お腹いっぱい食べました。次の予定はそうめん流し! 病気や体調管理に気を付けて、楽しみに待っていてくれたらと思います。(池永)



今後の行事予定

- ・ホーム活動
- ・自治会活動
- ・悠炉里夏祭り

コロナ感染予防 勉強会



新型コロナウイルスによる影響から各事業所での職員研修に変更し、各自が自己研鑽を行っています。悠炉里では六月の事業所内研修で「コロナ対策」について研修を開催しました。これまでのコロナ対策は、マスク、手指衛生、消毒等の予防に力を入れ職員は並びに、利用者にも予防意識を持って取り組んでいます。今回の研修ではコロナが発生した時の対応と対策について学びました。予防対策以外にも、早期発見から疑わしい場合の対応を学ぶことで、早い段階から感染症を最小限に食い止める手段を学びました。今回の研修で学んだノウハウは、従来、インフルエンザ、ノロウイルス感染症にも応用できると思います。これからは感染予防を徹底し、利用者の方が安心して生活ができるようにサポートをしていきます。

職員紹介

6月から入社しました荒木美和です。福祉の仕事は初めてなので戸惑いもありますが、皆さんの生活のサポートができるように頑張ります。宜しくお願いします。



1年がすぎた

新型コロナウイルスが広まり早一年半が過ぎた現在、ようやく一回目のワクチン接種が始まりましたが、未だ安心・安全な社会には戻っていないのが現状です。保護者との面会や県外での活動は職員も含め自粛が続き、利用者皆が楽しみにしている旅行や祭り等のイベントも、今年も中止の知らせばかりで残念な思いでいっぱいです。

お疲れ様でした!



竹市ホーム

(田中)

六月六日に住居周辺の空き缶拾いを行いました。普段から通勤している道のりでもあり、地域の清掃活動に貢献しようとして昨年からは始めた活動です。ゴミ袋二袋程も集まり、分別まで終わらせると、みんなでお食べる冷たいアイスが、疲れた体を癒してくれました。(竹市)



スポットライト



今回は4月より入居された池田香葉さんにインタビューしてみました。



宜しくお願いします

- Q. 悠炉里の生活はどうか?
A. 「とても楽しいです!」
- Q. がんばっていることは何ですか?
A. 「料理です。卵焼きが作れるようになりました!」
- Q. 今後の目標を教えてください!
A. 「就職して1人暮らしをすることです」

今後も自己研鑽に重点を置いて積極的に研修を取り入れて行きたいと思っています。(井上)



悠炉里ではこれまでのような活動ができるまで、職員が知恵を出し合い、感染防止を第一に、少しでも利用者にストレスを与えないように、そして、日常生活を楽しく送ることができると企画を提供し、コロナ禍を乗り越えたいと職員一同、力を合わせて頑張っています。(生川)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 7月号

工賃向上を目指して

今年度は、第四期工賃向上計画の
制定となっています。令和二年度の
平均工賃額は3万1784円。目標
工賃は3万5千円を目指していま
す。

コロナ禍は親会社、縫製工場、製
菓会社の生産性に影響を与え、下請
けの当事業所も影響を受けましたが
その一方で、ウイルスの防護服の新
たな生産で、多少は維持できた年で
ありました。

この社会情勢において親会社との
連携を図り受注量の確保を担保する
には、業務の質の向上・生産量(出
荷対応)等に信頼性を高めるために



衣類にアイロンを掛けている様子

やはた教育通信

やはた共育大学生の昼食は食器の準備、盛り
付け、食器洗いまで全て自分たちで行います。

一口に配膳といっても、色んなリスクを同時
に進行しなければなりません。

決められた時間通りに・人数分均等に・温か
いものは温かい状態で・色彩のバランス・使い
終わったものは片づける。これらの学習は、仕
事にもつながります。時間の意識、作業バラン
スの把握、優先順位、意識、作業スペースや時
間を作る工夫・整理整頓。

ただ単に配膳することが目的では
なく、配膳は仕事をするうえでの基
本スキルを身につけるための手段な
のです。普段の生活の中にある当たり
前にしている事でも、見方を変えら
ればすべてが訓練となり得るのです。

(濱田)

品質と納期を事業所の売
りとし、営業に力を入れ、仕
事の確保、生産技術、指導力
の向上を目指していきます。

(松尾)



昼食時の盛り付けの様子



花苗出荷です♪

園芸班では、市の委託を受けて
春と秋に花苗の生産を行っていま
す。今回、サルビア、マリーゴー
ルド、ポーチユラカの種を四月に
播種し、五月に移植を行いました。

利用者の方たちは、苗土の土作
りやポットへの土入れを慣れた手
つきで次々と行っています。

今回も綺麗に花が咲き誇り、愛
情を注いだ花達は、市内の小中学
校や老人会、各種団体へ届けます。
それぞれの場所で元気に美しく皆
さんを笑顔にしてくれると思いま
す。



綺麗な花苗できました

(宮田)

昼休みは「トランプ大会」

昼休みは、午後の作業に向けての休
憩、テレビを見たりとくつろいでいま
す。

そんな中、あるグループでは、以前か
ら「トランプ大会」に人気がありました。

普段は、「ババ抜き」の遊びのみでした
が、他の遊び方も学習するように職員
は、トランプ遊び(大富豪)にも挑戦さ
せました。すると、少しずつルールを覚
え、今では自分
達でできるまで
になり、たくさ
んの笑い声や「
もう一回」と飛
び交っています。
仕事も遊びも
真剣勝負です。

(白石)



ワークネットやはた この人

名前：西平 豊さん

Q) 趣味はなんですか？

「CDを聞くことです」

Q) 休日は何をされて
いますか？

「掃除や、買い物をしたりしています」

Q) 仕事の楽しみは何ですか？

「皆で作業をして、皆で給食を食べる事
です。」

●作業は、クルスの箱折りや素麺の詰め作業を
行っています。とても手先が器用です。これ
からも仲間と一緒に頑張っていきたいと思います。



散歩道

我が家には、ツバメがやってき
ますが、親に聞いた話では四十年
以上続いているようです。

成長して巣立つまで何度も餌
を運び、雛の巣立ちには、親鳥と
して飛び方の手本や自力で生き
ていけるまでの本当の「巣立ち」
まで見守っています。

さて、仕事においてもこのよう
な場面はたくさんあります。

実演や説明を通して相手に理
解をしてもらう。上手く伝わらな
い時もありますが、それは、自分
自身が理解していない部分にお
こります。職員に自信がない時に
は、利用者の方にも迷いがでま
す。

これから就職を目指している
方に精一杯サポートし「巣立ち」
まで見守っていきたいと思いま
す。

(松尾)

しんぼんしんぼ

支援力アップのび・み・つ

グループホームの世話人が、入居者と直接顔を合わせて生活する時間は短く、特に平日は、日中事業所の利用や就労によって、夕食前から二時間程度の支援が日常です。休日は、大半の入居者がホームで過ごしますが、三食分の調理業務に追われるのが現状でした。

そこで、宅配給食を利用して、休日の支援を変化させ、生活を充実する対策をとりました。天気の良い日は布団を干し、エアコンや洗濯機をクリーニン

グするなど、住環境を整備したり、買い物や散髪、入浴や薬つけといった日常の楽しみと健康増進の意識づけなどに時間をとることができます。

入居者と過ごす時間が増えたことで、何が必要か、どのような支援をすれば良いか、世話人の意識が変わってきたように感じます。私自身も、建物や設備管理に関する知識や技術を得意とする世話人から教えられることが多くあります。

現在は、三ホームが同じ動きをしていきますが、今後は、ホーム単位で特色ある活動や支援を定着させたいと考えています。そのためには、入居者一人



絵：石川智広さん作

ありがとうございます！

黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』より令和

和二年度分として一万五千円の助成をいただきました。

今回の助成で、パソコン型の知育玩具を購入し、搭載されている様々な学習機能を、高等部の生徒が使用しています。漢字検定九級程度の漢字問題を、楽しみながら学習する二人が小中学生に教えられる存在になるように、高校生二人の成長が楽しみです。

(恵理)



楽しく勉強ができてよかった



「ガースー」のきりくッキング!

—GHと日中の献立と調理を担当する栄養士ニと

“ガースー”に人気メニューを紹介してもらいましょう

今回ご紹介するのは、『照り焼きチキンバーガー』です。

ハンバーガーは大人にも子供にも大人気で、リクエストボックスにもよく投函されています。ハッピー班特製の、フワフワのバンズに、甘辛い照り焼きチキンをサンドすると、みんな堪らず大きな口でほおぼります。

ほかにわない、柿の木だけの一品です。



8月の行事

- 4日 河川アダプト
- 7日 柿の木夏祭り※
- 18日 誕生会
- 25日 作業班別・児童外出

言の葉

四月より新しく主任となり、怒涛のように過ぎ行く日々、ノックアウト寸前です。

前任より“後進に託す”という、とんでもないプレッシャーの中で筆を進めています。

前任者(柿の木所長)が書くこのコマは、率直な感想を題材にし、それを楽しみにしていたファンがいたとか、いないとか…。文章力皆無、何を書いて良いのかさえ悩んでしまう私には、到底荷が重たいのであります。これを書くということも仕事の一つですが、私の胃を傷つける、大きな原因の一つでもあります。

そして、仕事に戸惑い、立ち止まり、また進む、流れる時間の中で自分ができる精一杯をこなしています。

まだまだ未熟者ではありますが、上司と同僚に手を借りながら成長し、何事も全力で取り組んでいきます。

(恵理)



世話人と衣類整理をする西田さん

続 空前のブーム!?

田浦さんは、筋力強化のため、エルゴメーターを使ってリハビリに取り組んでいます。中庭に置いた動かない自転車のようなこの機器に乗ってペダルを漕ぐと、本物の自転車への憧れが膨らむのです。

特に、小学生の児童が、室内で



自転車に乗る田浦さん

の自転車乗りにならなから、一層「乗りたい」が止まらないのです。26インチの大きなタイヤの自転車に補助輪をつけてみましたが、地面から距離があり、かなり傾くのです。車体はフラつき、思うように進まないけど、決して降りようとしなない彼の情熱が皆さんに届くのでしょうか! どなたか補助輪を作ってくださいませんか。(由)

ひとりのライフステージや個性にしっかりと目を向けて、寄り添う支援と、確かな技術力を身に着けるには、道のりは果てしなないと感じています。

サービス管理責任者

園田 翔一郎



寺田容子 支援員



草野拓也 さん



池田晃之 さん



岩永きみ子 さん

これからよろしくお願いします!



30年前と同じ日に普賢岳北西斜面を撮影、噴火の裏側は無災害だった。

今から三十年前、普賢岳噴火で大
火砕流が発生した。山頂から東へ火
砕流や土石流が流れた。その流れに
知的障害者施設普賢学園は大被害を
受けた。当時の理事長本田哲郎先生
は、ほかにわ共和国に避難してきた
園生たちを励ますため、毎日のよう
にお見えになった。その時は、四
十七歳であった。先生の遺言で、私
が弔辞を述べたが、万感胸に迫った
ものがあつた。それは本田先生の優
しい眼差しであった。

避難生活は、県内の施設から二泊
三日の救援活動は百日で延べ約二四
〇名に支えられた。県愛護協会竹内
会長の指揮のもと団結は固かった。
研修の成果物『鎮まりませ火砕
流』を清水基金から助成を受けて刊



行。これが阪神・淡路島地震災害
時、兵庫県福祉協会の救援の『参考
書』になったと、何年もしてから、
当時の兵庫県愛護協会会長より東
京でお礼を告げられた。本を読み返
してみると、着のみのまま二〇名
が六月三日にほかにわに到着してい
る。それから「共汗共育」の日々が
続いた。あの日と同じ日に雲仙の上
った。噴火の煙はあるが、雑木や草
も緑を蓄えるまでになった。災害と
向き合う我々障害者施設は、命を守
るが第一主義である。「コロナに負
けるな」を合言葉に頑張ろう。

島原半島・マグマの真上・昔しから



志賀玄蕃(左)高力忠房
(お堂の墓)、島原快光院

島原半島の地震の概要を示しているが、筆者の
八幡神社志賀家に由縁のある事象が示されている。
志賀家の先祖は高力忠房(1638-1655)に仕える
家老職志賀玄蕃(通称甚三郎)の末裔といわれている。
何故末裔なのかを調べてみた。

私が父から聞いた話は、「1666年7月、高力の
二代目高力隆長(1655-1668)が、甚三郎を遊興

の席で諫言に怒り、馬鹿殿高長は甚三郎を斬殺した。そして、参勤交代で江戸にいた妻と息子を刺殺するために4人の刺客を送った。志賀家は断絶になった。」という逸話である。そして末裔になったという背景を、「大島原新聞」で知ることになる。

実は、1927年のパール・バックが雲仙・小浜で生活したという史実を確認するために、松平文庫の資料室から1927年の「大島原新聞」一年分のマイクロフィルムを閲覧したところ、偶然にも、「大島原新聞」は、1927年の新聞、9-10号で特集『甚三郎山』を組んであつた。新聞の特集から見えてきたことは、玉名から来ていた位の高い僧侶が、甚三郎の子女を助けたという逸話が記述されている。

その証拠となる史実が、島原城から最も不便で遠方の南串に数名の僧侶と金剛庵という地所に住んでいたとの言い伝え、そこには、僧侶の墓石が4基ある。現在は志賀家の墓所「奥津城」になっている。

1668年、隆長夫婦は仙台藩お預けとなり、志賀玄蕃の墓は島原市の快光院に高力忠房の隣に座している。そして、事件のあつた丘には志賀神社が建立されて甚三郎は、農民を救った義人として法要(九月九日雨ごい相撲)が、最近まで営まれていた。ところで、島原市教育委員会の史跡保存の申請書によれば、「高力隆長は遊興に耽り、領民の困苦を省みること無く、苛斂誅求を行ったため怨嗟の声が領内に満ちた。隆長の行状を諫める忠臣は放逐、閉門、あるいは自決させ、自ら手討したため、奸臣が大いに跋扈しめられた。そこで、玄蕃の諫言は隆長の怒りを買ってお手打ちになった場所として、甚三郎山を市の歴史史跡に指定する。」とある。さて、福祉文化史の視点で、「諫言」の内容を考察する時、甚三郎は、1663年と1664年の島原地震が関与していると考えられる。歴史的検証の新しい課題である。

**30年前の「鎮魂歌」謳われています
一期一会、東京多摩ファミリーシンガーズ慰問ツ
アーを企画し実行。山法師の歌が激励になった。**

山法師の花

作詞 しがとしき 作曲 たまみゆき
合唱 多摩ファミリーシンガーズ

お元気ですか そろそろ梅雨明け 思い出します
あの白い花 そちらでは噴火の騒ぎとか
大人しかった山が 騒いでいるとか
不安に思い 認めています
あれはコンサートの帰り 久々の雲仙でした
湯煙を背に 祈りに満ちた 普賢岳
心静かに仰ぎました 山法師の花は
今も咲いていますか
お返事待ってます ニュースの時間
毎日気にかかる私たち もう二度とあの白い花を
見ることができないかもしれないでも
忘れることはないでしょう 山法師の花は
今も咲いていますか
あの山の緑と白い山法師 暖かい心と優しい友達を
忘れることはないでしょう 忘れることはないでしょう



恒例になった法要が七月一
日「帷神記念館」で執り行わ
れた。今年度は二名天国へ旅
立った。二十四名の仲間は今
春完成した「奥津城」に安置
されている。私の日課は夕
刻、丸太でできた彼らの住ま
いを訪ねることだ。玄関の表
札私が揮毫し、森内さおりさ
んが彫って、中村ちさみさん
が塗装してくれた。感謝☆

ところが、島原の地震といえば、1792年の「島原大変肥後迷惑」があまりにも有名である。1996年の東日本地震災害は、1991年の普賢災害がキーワードになり、パール・バックの『つなみ』のモデルは、1792年の地震として論じられている。しかしなが、地震に関する資料を精査してみると、パール・バックの住居から見える千々石沖の海中爆発(M6.5)が1792年発生している。そして、パールは、屋敷前の橋を記憶にあつたと述べているが、その橋は、「水なし川」に架かって橋で、1791年12月5日、雲仙岳西部の「山領噴火」によるものである。つまり、三陸沖地震を「島原大変肥後迷惑」としている学説は本当ではない。ことが導き出せた。